

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

令和5年度

公表：令和 6年 6月 11日

事業所名 放課後等デイサービス プレス

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	2	遊びや活動に応じて、机を配置したり、パーテーションを用いたりしているが、寝転がる児童、走り回る児童が入り乱れ危険に感じるため、部屋を分けるなど対策を講じていく
	2	職員の配置数は適切である	5	0	4	配置基準は満たしているが、曜日によって重度の児童の比重が多い日がある為、人員配置を考慮し、活動の工夫を行う
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	0	0	段差なく、スロープや手すりの設置がされている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	2	1	月に1回、活動、リスクマネジメント、研修勉強会など会議を行っている。業務の改善に向けた問題解決を速やかに行うため、職員意識を高めていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	3	1	アンケートの実施は行い、集計を行ったが、開業初年度のため、集計結果をもとに、業務改善につなげていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	4	4	アンケートの実施は行い、集計を行った。初年度の為、作業に手間取ってはいるが、実施に向け、取り組んでいる
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3	4	初年度のため、外部委託による第三者評価を実行することは出来ていない。今後、業務改善に取り組んでいく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	2	0	月に1回資質の向上を目指し、研修を行っている。今後も現場で実践につながる内容の研修を行っていくようにする
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	2	0	概ね半年に1回、課題変更の必要があれば適宜モニタリングを実施し、個別計画の作成を行っている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	3	1	個別計画の目標を個別記録にも表記し、目標に沿った支援の記録や、その他の姿を記録し、モニタリングに反映できるようにしている
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1	1	活動会議の場を設けて、皆で話し合いをし、立案に取り組んでいる
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1	1	どの利用日でもまんべんなく体験できるように配分したり、児童の特性を踏まえ、様々な感覚に働きかけるように組み立てるなどして、楽しめる活動を取り入れるように工夫している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	2	1	活動会議を行い、利用時間に応じて活動プログラムを立てて支援に生かしている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	2	2	子どもの状況に合わせ、集団での課題、個別での課題を盛り込んで計画を立てている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	1	朝礼時とパート出勤時に打ち合わせを行っているが、具体的な役割分担について、伝えられない時もあるため、より具体的な打ち合わせができるよう改善していく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2	2	その日、気になったこと、特記事項などの情報共有を行い、次回の対策を話し合っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1	1	支援の目標を記録用紙に表記し、正しく記録するよう意識している。支援目標以外の姿も記録に残し、検証・改善に努めている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	3	0	個別の計画期間に応じてモニタリング会議を行い、見直しの必要性の周知を職員間で共有している。また、計画途中で見直しが必要であるときには、児童発達支援管理責任者の判断によりモニタリングを行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	4	0	基本活動を組み合わせ活動を企画し実施している	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	3	0	児童発達支援管理責任者が参加している
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8	1	0	学校行事、下校時刻等について、保護者様より情報を頂き、送迎の対応に努めている。送迎時間の調整については、保護者様を通じて、学校と調整を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	6	2	現時点では受け入れはない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	4	1	就学前に在籍している保育所に、児童の様子を見学させて頂いたことや、情報を共有させて頂いたケースがあった。積極的に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	5	2	開所間もないため、事例はないですが、該当する場合には行っていくよう努めている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	3	障がい者支援センター、相談支援事業所の相談員と連携をとって情報の共有や助言を頂いている。研修については、研修の案内があれば、職員に対し、積極的に研修参加の促しを行っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5	3	公園に出かけた際などに、少し交流がある程度だが、交流を持てるよう外出を増やして行くようにする
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	4	4	1	積極的に参加するよう努めている
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	3	0	個別計画面談以外にも、家族の不安に対し時間を作って頂き、お子さんの状況や問題など話し合い、解決に向け、共通理解に努めています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	4	5	開所して1年の為、実施に至らなかった。今後、行えるように整備していく	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	3	0	契約時、丁寧な説明を心がけている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	3	1	その都度、気持ちに寄り添いながら、連絡帳や電話、メールなどを活用したり、事業所に来ていただいて、相談事に応じています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	2	7	父母の会の発足はしていない。発足できると良いと考えている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	2	1	児童発達支援管理責任者が情報を収集して、迅速丁寧に対応に努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	2	0	コドモンを導入して、毎月の活動の様子やお知らせを「Breath Kids」にて配信を行っています。苦手な方には、配布をしています。連絡ツールとLINEも活用しています。
	35	個人情報に十分注意している	8	1	0	入職時に誓約書を提出してもらい、書類の持ち出し時には個人名を入れないよう、個人情報の取り扱いには十分に注意している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	1	0	わかりやすい言葉で、端的に伝えるようにしたり、図や文字を用いたりして配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3	6	初年度は、行えなかったが今年度はできるよう計画・相談している

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1	2	各種マニュアルの作成は出来ているが、周知に関しては、今後、強化していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	2	毎月、曜日を変えて避難訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	2	1	法律に則って、必要な研修会を行い、虐待のない支援方法で対応しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	1	0	研修を行って、身体拘束についての知識を共有し、保護者の方々にも身体拘束の指針をご説明し、同意書をいただいています。身体を守るうえで、危険度の高いご利用者様には、個別計画にも記載しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	3	1	保護者様、ご本人様の申出によりアレルギー食品の除去を行ってはいませんが、現在、医師の指示書のご提出がないため、今後は医師の指示書のご提出をして頂くようにいたします。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	1	1日1つ以上を目標にヒヤリハットの報告に取り組んでいます。